28動薬第4273号 平成29年3月29日

別記関係団体 宛

農林水産省動物医薬品検査所企画連絡室長

副作用報告システムの廃止に伴う副作用等の報告について

平素より動物薬事行政の推進に御理解及び御協力いただき誠にありがとうございます。

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(以下「法」という。)第68条の10に基づく動物用医薬品等の副作用等の報告については、平成16年度より副作用報告システムにおいて受け付けていたところですが、平成25年度に本システムに不具合が生じ、暫定的にメール及びFAXにて受け付けを行っていたところです。本システムについては、復旧を検討してきたところですが、情報セキュリティの高度保持が求められていることもあり、今年度をもって、廃止することとしました。

このため、今後の動物用医薬品等の副作用等の報告については、現在対応している方法を踏まえ、下記によることとしましたので、御了知の上、貴会会員への周知をお願いします。

なお、報告様式については変更がありますので、下記様式を用いて報告いただけますようお願いいたします。

記

- 1 法第68条の10に基づく副作用等の報告のうち、
 - ① 同条第1項に基づく動物用医薬品等取締規則第184条の16第1項第1号イ、ロ及びハ、同項第3号イ並びに同項第4号イ、ロ及びハの副作用等の報告については、別記様式第1号
 - ② 同条第2項に基づく副作用等の報告については、別記様式第2号 に必要事項を記入した電子ファイルを以下のメール送付先にお送りください。
- 2 同規則第 184 条の 16 第 1 項第 1 号二、同項第 2 号、同項第 3 号ロ及び同項第 4 号 ニに基づく研究報告については、研究報告が掲載された雑誌名等、研究報告者氏名、 研究報告年月日、研究報告内容の要旨を記載した電子データ (Microsoft Word 又は Excel、一太郎。様式自由)を以下のメール送付先にお送りください。

報告様式電子データ掲載先:

http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html

メール送付先: <u>nval_fukusayo@maff.go.jp</u>

(FAX 送付先: 042-321-1769)

別記関係団体

公益社団法人 日本動物用医薬品協会理事長

公益社団法人 日本獣医師会会長

一般社団法人 全国動物薬品器材協会理事長

一般社団法人 日本画像医療システム工業会会長

一般社団法人 日本分析機器工業会会長

一般社団法人 日本臨床検査薬協会会長

28動薬第4273号 平成29年3月29日

都道府県動物薬事主務課長 殿

農林水産省動物医薬品検査所企画連絡室長

副作用報告システムの廃止に伴う副作用等の報告について

このことについて、別添写しのとおり、関係団体宛に通知したので、御了知いただくとともに、貴管下の動物用医薬品、医薬部外品、医療機器及び再生医療等製品の製造販売業者並びに飼育動物診療施設の開設者、獣医師等への周知をお願いします。

動物用医薬品等副作用報告書(製造販売業者等用)

年 月 日

農林水産大臣 殿

製品名※												
1. 副作用等発現の概要及び転帰												
I. 副作用等発達		及い転点	Ŧ									
種類(症状)※												
副作用・感染症の 種類(経過・詳細)※												
講じた処置	i:X			()
転帰※												
併用薬名	*			())
投与経路※							効能•効果					
投与量※							用法•用量	*				
投与年月日					~	,						
投与から副作用・感 までの時間:						投与者※						
発生年月日							都道府県名 海外の場合は国	都道府県名 外の場合は国名※				
病性鑑定(検注 結果	査)の											
同時に投与 他の動物の												
2. 発現動物												
発現頭羽数/	投与頭羽	习数×		/		Π						
動物種※		132/11		(その他を選択した場合は記載)								
品種※	`						, ,	** 10 C 2	211/10/12/9	, H to the +M		
性※			妊娠(の有無			産歴		1	泌乳の有無		
年齢※		~	7 —			体重※		~		kg		
	投与したときの健康状態											
投与前の診												
既往症												
副作用歷											-	
医薬品の投												
3. 発現の要因												
製品名※	(
製造販売業者	省名※											
医薬品等の区	☑分※											
一般的名称又	は有効原	成分※										
投与前の保管状況※							製造番号又は					
承認番号※								使用期限				
年間製造·輸入数量							年間販売数量	ŧΧ				
4. 意見等												
因果関係:	*											
	獣医師等からの意見※											
製造販売業者等の意見※												
原因究明・対応処置の内容※												

5. 参考事項				
同様の副作用などの発生	生事例•文献報告	i等		
その他				
●報告者				
情報入手年月日※				
住所※	郵便番号			
した表示の表示を表示できます。 している。 して		•		 <u> </u>

所属部署※

ファクシミリ番号

※の項目はもれなく記入してください。

代表者名※ 報告担当者名※

連絡先電話番号※

メールアドレス※

動物用医薬品等副作用情報報告書(獣医師等用)

年 月 日

農林水産大臣 殿

製品名※									
1. 副作用等発現の概要及び転帰									
副作用・感染症の種類(症									
状)※									
副作用·感染症	を できます ほうしゅう しゅう しゅう かんしょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ								
過•詳細)※									
講じた処置※			()		
転帰※			()		
併用薬※	□なし □あり	厂製品名	i :)		
投与経路※			(投与量				
	□効能・効果・		□適応外使用						
用法·用量※	□用法・用量		□用法・用量以						
投与年月日※		月	日 (~	月 日)	•				
投与から発現				投与者※					
発生年月日※	年	月	<u> </u>	都道府県※					
病性鑑定(検査)の成績									
同時に投与した 報	他の動物の情	(投与し	た() <u>頭</u>	頁のうち()頭で	発生)			
2. 発現動物									
動物種※			品種						
性別※			妊娠の有無		産歴				
年齢※			体重			kg			
医薬品を投与し	したときの健康	状態※				_			
投与前の診断									
既往歴									
副作用歴									
医薬品の投与	歴								
3. 医薬品等の 製品名※	<u>71月 羊収</u> 								
医薬品区分	 □動物用医薬	20 (片物	一一一	□人体用医薬					
※			」子的製剤以外 」学的製剤以外		ЕПП)		
一般的名称又	<u> 一動物用医素</u> 	<u> </u>	<u>于时表列外外。</u>	/ 口区凉饭帕			/		
製造販売業者									
製造番号※			使用期限		保管状況				
			I CATAMEN	<u> </u>	IN A NOU				
4. 意見等因果関係※	□あると考え	これる	口ないとは言え	ない 口不明	月 口その	4th (
報告者の意見		2110	<u> </u>	<u>гио. Пил</u>	<u>л Ц (0)</u>				
	<u> </u>								
5. その他※									
情報入手年月	P	年	月日	本事例の関連	企業への幸	品生を			
報告者		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		口行った	<u> </u>	кнс			
担当者氏名			/ /	企業名					
住所									
診療施設名				連絡日	平原	艾 年 月	日		
電話番号				口行う予定	1 /3	, , , , ,			
FAX番号				1	平成	年 月	日頃		
メールアドレス				口行わない	□未定	. • •			
×の項目は±・		ノムペン・							

※の項目はもれなく記入してください

報告いただいた1~4の内容については、製造販売業者に情報提供します。 なお、5に記載されている報告者情報について製造販売業者から求められた場合には、製造 販売業者に伝えることに (□同意します・□同意しません)。